

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	TOEIC		授業形態	講義&演習		
担当教員	藤田 好子		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科・国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1		2
実務経験	ビジネス通訳翻訳、通訳案内士の実務経験 専門学校、エアラインスクール、留学斡旋会社にてTOEIC, TOEFL, 英検の指導 英検面接委員					
テキスト	start up course for the TOEIC LR / 出る単特急金のフレーズ					
講義の概要	リスニングの対策として通訳メソッド(音読、リピーティング、シャドーウィング)を用いたトレーニングを行う。 リーディング対策として文法、語彙の強化を行い読解力を養う					
第1回	オリエンテーション Unit 1 transportation and information		第1回	金のフレーズテスト ⑨ Unit 10 shopping		
第2回	金のフレーズテスト ① Unit 2 instruction		第2回	金のフレーズテスト 10 Unit 11 sports and exercise		
第3回	金のフレーズテスト ② Unit 3 eating and drinking		第3回	金のフレーズテスト 11 Unit 12 trouble and claims		
第4回	金のフレーズテスト 3 Unit 4 business scene		第4回	金のフレーズテスト 12 extra test 1		
第5回	金のフレーズテスト ④ Unit 5 communicaiton		第5回	金のフレーズテスト 13 extra test 2		
第6回	金のフレーズテスト ⑤ Unit 6 socializing		第6回	金のフレーズテスト 14 extra test 3		
第7回	金のフレーズテスト ⑥ Unit 7 invitation		第7回	金のフレーズテスト 15 extra test 4		
第8回	TOEIC 模試		第8回	TOEIC 模試		
第9回	TOEIC 模試 解説		第9回	TOEIC 模試 解説		
第10回	金のフレーズテスト ⑦ Unit 8 medical treatment		第10回	金のフレーズテスト 16 公式問題集10 part 5		
第11回	金のフレーズテスト ⑧ Unit 9 culture and entertainment		第11回	金のフレーズテスト 17 公式問題集 10 part 6		
第12回	前期期末試験用 review		第12回	後期末試験要 review		
第13回	前期期末試験		第13回	後期末試験		
履修上の注意						
試験成績の評価基準	期末試験 80% 平常点 20%					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	ビジネス英会話		授業形態	演習		
担当教員	Andrew Moss		履修年次	2年		
担当学科	ユニ共通		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	—	後期	—
コマ数/週	前期	—	後期	—		
実務経験						
テキスト	Pre-intermediate Market Leader (Pearson)					
講義の概要	Students will improve reading, writing, listening and speaking through a variety of exercises.					
<b>講義の展開計画</b>						
第1回	Unit 1 Careers (1,2)		第1回	Unit 4 Great Ideas (1,2)		
第2回	Unit 1 Careers (3,4)		第2回	Unit 4 Great Ideas (3,4)		
第3回	Unit 1 Careers (5,6, Case study)		第3回	Unit 4 Great Ideas (5,6, Case study)		
第4回	Unit 2 Companies (1,2)		第4回	Unit 5 Stress (1,2)		
第5回	Unit 2 Companies (3,4)		第5回	Unit 5 Stress (3,4)		
第6回	Unit 2 Companies (5,6, Case study)		第6回	Unit 5 Stress (5,6, Case study)		
第7回	Unit 3 Selling (1,2)		第7回	Unit 6 Entertaining (1,2)		
第8回	Unit 3 Selling (3,4)		第8回	Unit 6 Entertaining (3,4)		
第9回	Unit 3 Selling (5,6)		第9回	Unit 6 Entertaining (5,6)		
第10回	Unit 3 Selling Case study, Working across cultures		第10回	Unit 6 Entertaining Case study, Working across cultures		
第11回	Revision of units 1-3.		第11回	Revision of units 4-6.		
第12回	Oral exam		第12回	Oral exam		
第13回	Written exam		第13回	Written exam		
履修上の注意	Students have to attend at least 75% of scheduled classes and score at least 60% total to receive credit for this course.					
試験成績の評価基準	Written exam 40%. Oral exam 40%. Attendance/participation 20%.					

# 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	基礎ゼミナール			授業形態	演習		
担当教員				履修年次	2年		
担当学科				G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	・キャリアプランからはじめる就職活動 実践!ワークブック						
講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期は面接練習を徹底して行う。</li> <li>・後期は、社会人として不可欠な基礎知識やマナーを実践形式で身に付ける。</li> </ul> 【前期】面接練習 【後期】社会人として必要なこと(実践)						
講義の展開計画							
第1回	オリエンテーション 現状確認(個別)			第1回	前期の振り返り・活動状況報告		
第2回	志望動機を書いてみる①			第2回	コミュニケーション演習①話す力		
第3回	志望動機を書いてみる②			第3回	コミュニケーション演習②聞く力		
第4回	面接練習(WEB面接の方法・注意事項)			第4回	コミュニケーション演習③GW		
第5回	面接練習(GD①WEB Ver.)			第5回	コミュニケーション演習④GW		
第6回	面接練習(グループ) 長所・短所			第6回	プレゼンテーション演習①自分でテーマを決めて文章化		
第7回	面接練習(グループ) 志望動機			第7回	プレゼンテーション演習②練習		
第8回	面接練習(グループ) 自己紹介			第8回	プレゼンテーション演習③発表		
第9回	面接練習(グループ) 趣味・特技			第9回	プレゼンテーション演習④発表		
第10回	面接練習(グループ) 例え(色・花・動物)			第10回	来客対応・名刺交換ロープレ		
第11回	面接練習(グループ) 1分間スピーチ(好きな物)			第11回	電話対応・訪問ロープレ		
第12回	個人面接			第12回	クレーム対応ロープレ 社会人になる心構え		
第13回	後期期末試験(個人面接)			第13回	後期期末試験(作文)		
履修上の注意	実技中心に主体的に動いて学ぶこと。						
試験成績の評価基準	平常点20点 【前期】：個人面接80点 【後期】プレゼンテーション60点+作文20点						

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	ITスキルWord II		授業形態	演習		
担当教員	西吉 まゆみ		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	富士通パソコン教室PCインストラクター (富士通ラーニングメディア認定講師)					
テキスト	MOS Word 365&2019 Expert対策テキスト&問題集 オリジナル資料					
講義の概要	1年時に習得したWordの機能を復習し、1から文書が作成できる力を身につけ、実務で役立つビジネス文書を効率よく作成することを目指す。 また総合的なWordのスキルの養成を図り、MOS Expertの資格取得を目指す。					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション、1年時の復習		第1回	後期オリエンテーション、前期の復習		
第2回	MOS Word365&2019 (1年時の復習)		第2回	ビジネス文書の構成、マナー		
第3回	出題範囲1：文書のオプションと設定の管理		第3回	ビジネス文書活用		
第4回	出題範囲1：文書のオプションと設定の管理		第4回	ビジネス文書活用		
第5回	出題範囲2：高度な編集や書式設定の機能の利用		第5回	ビジネス文書活用		
第6回	出題範囲2：高度な編集や書式設定の機能の利用		第6回	ビジネス文書活用		
第7回	出題範囲3：ユーザーのドキュメント要素の作成		第7回	ビジネス文書活用		
第8回	出題範囲3：ユーザーのドキュメント要素の作成		第8回	ビジネス文書活用		
第9回	出題範囲3：ユーザーのドキュメント要素の作成		第9回	ビジネス文書活用/筆記試験対策		
第10回	出題範囲4：高度なWord機能の利用		第10回	ビジネス文書活用/筆記試験対策		
第11回	出題範囲4：高度なWord機能の利用		第11回	ビジネス文書活用/筆記試験対策		
第12回	前期まとめ・期末試験対策		第12回	後期まとめ・期末試験対策		
第13回	前期期末試験		第13回	後期期末試験		
履修上の注意	PC・テキストは必ず持参すること。 時間になったらすぐにPCが使用できるよう事前に電源を入れておくこと。					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：定期試験80%、平常点20%)					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	ITスキルExcel II		授業形態	演習		
担当教員	菊地 裕美		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	Microsoft office specialist Excel Expert サーティファイ Excel 表計算処理技能認定試験 1級					
テキスト	Excel365 Expert					
講義の概要	ワークシートやブックの管理、セルやセル範囲のデータの管理、テーブルやテーブルのデータの管理、数式や関数を使用した演算の実行、グラフの管理ができることを前提に、さらにExcel操作や知識を深め、MOSのアソシエイト称号取得、さらにExpert取得を到達目標とする。					
講義の展開計画						
第1回	【オリエンテーション】 自己紹介/PGの動作確認/データのダウンロード		第1回	前期復習		
第2回	【1年次の復習①】 Excel操作に関するプリント等を使用し、1年次の復習を行う。		第2回	模擬試験プログラムの使い方 模擬試験プログラムの注意事項		
第3回	【1年次の復習②】 Excel操作に関するプリント等を使用し、1年次の復習を行う。		第3回	【模擬試験第1回】 問題解答と解説		
第4回	【総復習】 Excelに関する総合問題を出题し、解説・解答を行う。		第4回	【模擬試験第2回】 問題解答と解説		
第5回	【ブックのオプションと設定の管理】 ブックを管理する/共同作業のためにブックを準備する/ 言語オプションを使用する、設定する		第5回	【模擬試験第3回】 問題解答と解説		
第6回	【ブックのオプションと設定の管理】 確認問題		第6回	【模擬試験第4回】 問題解答と解説		
第7回	【データの管理と書式設定】 既存のデータを使用してセルに入力する/データに表示形式や入力規則を適用/詳細な条件付き書式やフィルターを適用		第7回	【模擬試験第5回】 問題解答と解説		
第8回	【データの管理と書式設定】 確認問題		第8回	【模擬問題ランダム①】		
第9回	【高度な機能を使用した数式およびマクロの作成①】 関数で論理演算を行う/関数を使用してデータを検索する 高度な日付と時刻の関数を使用する/データ分析を行う		第9回	【模擬問題ランダム②】		
第10回	【高度な機能を使用した数式およびマクロの作成②】 数式のトラブルシューティングを行う/簡単なマクロの作成・変更 確認問題		第10回	【模擬問題ランダム③】		
第11回	【高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理】 高度な機能を使用したグラフを作成、変更/ピボットテーブルの作成、変更/ピボットグラフの作成、変更 確認問題		第11回	【総合問題】 模擬試験から問題を抜粋して出題		
第12回	期末試験対策		第12回	期末試験対策		
第13回	期末試験		第13回	期末試験		
履修上の注意	テキストは必ず持参すること (忘れた場合は事前にコピーを取っておく) PCを忘れないこと (忘れた場合は職員室で事前に借りておく)					
試験成績の評価基準	実技試験と平常点 (授業態度や課題の提出など) の合計を評価基準とする。 (評価 : 定期試験80%、平常点20%)					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	Web デザイン		授業形態	演習		
担当教員	西吉 まゆみ		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	富士通パソコン教室PCインストラクター (富士通ラーニングメディア認定講師)					
テキスト	30時間でマスター Webデザイン HTML5 & CSS3					
講義の概要	Webサイトのしくみを理解し、Webデザインの基本を学ぶ。 また、Webページ作成の流れを確認し、企画・制作まで行う。					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション、Webデザインとは		第1回			
第2回	Webサイト制作の基礎、HTML基礎		第2回			
第3回	HTML記述について		第3回			
第4回	HTMLマークアップ演習、画像処理		第4回			
第5回	CSSの基礎		第5回			
第6回	CSS記述について		第6回			
第7回	Webページレイアウトについて		第7回			
第8回	実習：Webサイト制作		第8回			
第9回	実習：Webサイト企画		第9回			
第10回	実習：Webサイトマークアップ		第10回			
第11回	実習：Webサイトデザイン		第11回			
第12回	Webページ発表、まとめ		第12回			
第13回	前期期末試験		第13回			
履修上の注意	PC・テキスト・配布資料を必ず持参すること。					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：実技試験80%、平常点20%)					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	プレゼンテーション		授業形態	演習		
担当教員	高橋 宏彰		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻	専門科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験						
テキスト	30時間でマスター プレゼンテーション+Power Point 2019					
講義の概要	プレゼンテーションとは何かを理解し、PowerPointを使用してプレゼンテーション資料を作成する。					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション、プレゼンテーションとは		第1回			
第2回	第1章、プレゼンテーションの種類、概要		第2回			
第3回	第1章、プレゼンテーションの活用、実際		第3回			
第4回	第2章、PowerPointを使った資料の作成		第4回			
第5回	第2章、テーマの決め方、集め方		第5回			
第6回	第2章、プレゼンテーションの構成		第6回			
第7回	第2章、プレゼンテーションの実際		第7回			
第8回	プレゼンテーション実習		第8回			
第9回	プレゼンテーション実習		第9回			
第10回	プレゼンテーション実習		第10回			
第11回	プレゼンテーション実習		第11回			
第12回	プレゼンテーション実習		第12回			
第13回	まとめ、全体の総括		第13回			
履修上の注意	パソコンとテキストは、必ず持参すること。					
試験成績の評価基準	プレゼンテーションの出来具合により評価する。また、聞き手である学生の評価も重視する。					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	インターネットビジネス			授業形態	演習		
担当教員	西吉 まゆみ			履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	後期	単位数	前期	—	後期	2	
コマ数/週	前期	—	後期	1			
実務経験	富士通パソコン教室PCインストラクター (富士通ラーニングメディア認定講師)						
テキスト	オリジナル資料						
講義の概要	ECをメインにインターネットビジネスの概要を学ぶ。ECの特徴やビジネス手法、マーケティングを知り、企業のEC部門担当者の業務をイメージする。						
講義の展開計画							
第1回			第1回	オリエンテーション、概要			
第2回			第2回	ECサイトプラットフォーム、市場について			
第3回			第3回	ECについてのリサーチ、ディスカッション			
第4回			第4回	ECモールの比較 (メリット・デメリット)			
第5回			第5回	ECサイトの構造について			
第6回			第6回	ECサイト売上を上げるには、SNSの利用			
第7回			第7回	実習：EC事業化推進案作成 (テーマ有)			
第8回			第8回	実習：EC事業化推進案作成 (資料作成)			
第9回			第9回	実習：EC事業化推進案作成 (自分で企画)			
第10回			第10回	実習：EC事業化推進案作成 (資料作成)			
第11回			第11回	実習：EC事業化推進案作成 (資料作成)			
第12回			第12回	プレゼン発表、まとめ			
第13回			第13回	後期期末試験			
履修上の注意	PC、配布資料を必ず持参すること。						
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：実技試験80%、平常点20%)						



## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	簿記演習		授業形態	演習		
担当教員	鈴木 将嗣		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	公認会計士として、法定監査（金融商品取引法、会社法等）及び任意監査、決算指導等の業務を経験					
テキスト	日商簿記2級（商業簿記・工業簿記）の合格テキスト、合格トレーニング、本試験問題集					
講義の概要	日商簿記2級を範囲として学習します。理解を深めるために演習問題も講義中に取り組みます。					
<b>講義の展開計画</b>						
第1回	テーマ00 簿記一巡の手続き		第14回	テーマ12 税金		
第2回	テーマ01 財務諸表		第15回	テーマ13 課税所得の算定と税効果会計		
第3回	テーマ02 商品売買		第16回	テーマ14 株式の発行 テーマ15 剰余金の配当と処分		
第4回	テーマ03 現金および預金		第17回	テーマ16 決算手続		
第5回	テーマ04 債権・債務		第18回	テーマ17 収益の認識基準		
第6回	テーマ05 有価証券		第19回	テーマ18 本支店会計		
第7回	テーマ06 有形固定資産（Ⅰ）		第20回	テーマ19 合併と事業譲渡		
第8回	テーマ07 有形固定資産（Ⅱ）		第21回	テーマ20 連結会計Ⅰ（資本連結Ⅰ）		
第9回	テーマ08 リース取引		第22回	テーマ21 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）		
第10回	テーマ09 無形固定資産等と研究開発費		第23回	テーマ22 連結会計Ⅲ（成果連結）		
第11回	テーマ10 引当金		第24回	テーマ23 連結会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書を作成する場合）		
第12回	テーマ11 外貨換算会計		第25回	テーマ24 製造業会計		
第13回	前期末試験		第26回	後期末試験		
履修上の注意	講義では知識のインプットを中心に、演習への取組みによりアウトプットの練習を行います。検定試験の合格に向けては各自のアウトプット（問題集や模擬試験）が必要となります。					
試験成績の評価基準	期末試験80点、平常点20点（期末試験のうち10点分は検定試験の合格を含みます）					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	会計演習		授業形態	演習		
担当教員	鈴木 将嗣		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	公認会計士として、法定監査（金融商品取引法、会社法等）及び任意監査、決算指導等の業務を経験					
テキスト	日商簿記2級（商業簿記・工業簿記）の合格テキスト、合格トレーニング、本試験問題集					
講義の概要	日商簿記2級を範囲として学習します。理解を深めるために演習問題も講義中に取り組みます。					
講義の展開計画						
第1回	テーマ00 簿記一巡の手続き		第14回	テーマ12 税金		
第2回	テーマ01 財務諸表		第15回	テーマ13 課税所得の算定と税効果会計		
第3回	テーマ02 商品売買		第16回	テーマ14 株式の発行 テーマ15 剰余金の配当と処分		
第4回	テーマ03 現金および預金		第17回	テーマ16 決算手続		
第5回	テーマ04 債権・債務		第18回	テーマ17 収益の認識基準		
第6回	テーマ05 有価証券		第19回	テーマ18 本支店会計		
第7回	テーマ06 有形固定資産（Ⅰ）		第20回	テーマ19 合併と事業譲渡		
第8回	テーマ07 有形固定資産（Ⅱ）		第21回	テーマ20 連結会計Ⅰ（資本連結Ⅰ）		
第9回	テーマ08 リース取引		第22回	テーマ21 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）		
第10回	テーマ09 無形固定資産等と研究開発費		第23回	テーマ22 連結会計Ⅲ（成果連結）		
第11回	テーマ10 引当金		第24回	テーマ23 連結会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書を作成する場合）		
第12回	テーマ11 外貨換算会計		第25回	テーマ24 製造業会計		
第13回	前期末試験		第26回	後期末試験		
履修上の注意	講義では知識のインプットを中心に、演習への取組みによりアウトプットの練習を行います。検定試験の合格に向けては各自のアウトプット（問題集や模擬試験）が必要となります。					
試験成績の評価基準	期末試験80点、平常点20点（期末試験のうち10点分は検定試験の合格を含みます）					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	ビジネス実務Ⅱ		授業形態	演習		
担当教員	細川 久美子		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	化粧品メーカーの営業社員 情報通信会社の料金センターの事務 社労士事務所の総務部門、職業紹介会社の取締役 等					
テキスト	秘書検定準1級に面白いほど受かる本 (KADOKAWA出版) 秘書検定準1級実問題集(2024年版) (早稲田教育出版)					
講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ビジネスの場で不可欠な「聞く」「書く」「話す(つたえる)」力を身に付ける</li> <li>◆上記検定の学習を通して、様々なビジネスの場で自らで判断して行動できる力を習得する</li> <li>◆秘書検定準1級の取得を目標とする</li> </ul>					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション 秘書検定準1級 記述対策演習① 取得級別 実問題グループ演習①		第1回	秘書検定準1級 記述対策演習⑬ 「読む力」「書く力」養成演習①		
第2回	秘書検定準1級 記述対策演習② 取得級別 実問題グループ演習②		第2回	秘書検定準1級 記述対策演習⑭ 「読む力」「書く力」養成演習②		
第3回	秘書検定準1級 記述対策演習③ 取得級別 実問題グループ演習③		第3回	秘書検定準1級 記述対策演習⑮ 「読む力」「書く力」養成演習③		
第4回	秘書検定準1級 記述対策演習④ 取得級別 実問題グループ演習④		第4回	秘書検定準1級 記述対策演習⑯ 「聞く力」「話す力」養成演習①		
第5回	秘書検定準1級 記述対策演習⑤ 取得級別 実問題グループ演習⑤		第5回	秘書検定準1級 記述対策演習⑰ 「聞く力」「話す力」養成演習②		
第6回	秘書検定準1級 記述対策演習⑥ 取得級別 実問題演習①		第6回	秘書検定準1級 記述対策演習⑱ 「聞く力」「話す力」養成演習③		
第7回	秘書検定準1級 記述対策演習⑦ 取得級別 実問題演習②		第7回	秘書検定準1級 記述対策演習⑲ 「考え抜く力」「チームで働く力」養成のための 企画立案演習①		
第8回	秘書検定準1級 記述対策演習⑧ 取得級別 実問題演習③		第8回	秘書検定準1級 記述対策演習⑳ 「考え抜く力」「チームで働く力」養成のための 企画立案演習②		
第9回	秘書検定準1級 記述対策演習⑨ 秘書検定準1級 面接対策①		第9回	「考え抜く力」「チームで働く力」養成のための 企画立案演習③		
第10回	秘書検定準1級 記述対策演習⑩ 習秘書検定準1級 面接対策②		第10回	お金に関わる知識① (給料・所得・税金計算等)		
第11回	秘書検定準1級 記述対策演習⑪ 秘書検定準1級 面接対策③		第11回	お金に関わる知識② (稼ぐ・守る・増やす)		
第12回	秘書検定準1級 記述対策演習⑫ 総合演習		第12回	お金に関わる知識 (家庭経済の見直し)		
第13回	期末試験		第13回	期末試験		
履修上の注意	授業を欠席する場合は、科目担当講師に理由も含めて連絡をしてください。(担任とは別に) 連絡がなかった場合は、公欠か否かは関係なく平常点から減点します。 授業の順番については、状況により変更することがあります。					
試験成績の評価基準	【評価方法】 筆記試験80%平常点20% (平常点は課題提出状況と出席状況による)					

# 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	異文化コミュニケーション		授業形態	演習		
担当教員	李 香		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	1	後期	1
コマ数/週	前期	—	後期	2		
実務経験						
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考文献</li> <li>1、李 志瑛 できる韓国語初級1 CD1枚付き アスク出版社</li> <li>2、林松濤「リン ショウトウ」(2016)【日本人が知りたい中国人の当たり前 中国語リーディング】三 修社</li> <li>3、王丹「Wang Dan」(2015)【新ゼロからスタート中国語】文法編 (CD1枚付き) Jリサーチ出版</li> </ul>					
講義の概要	「聞く、話す、読む、書く」という4技能から総合的に言語の基礎を身につけることを目的とする。それに隣国の文化の触れ合いもする予定である。					
講義の展開計画						
第1回	シラバス、授業説明、座席指定、韓国語の名前発表。韓国語で自己紹介練習		第1回	座席指定、中国語で練習		
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自文化」と「他文化」の理解と比較</li> <li>・韓国人の日常生活①</li> <li>・ハングルの子音、母音、単語</li> </ul>		第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の食文化</li> <li>・中国語の基本知識</li> </ul>		
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国人の日常生活②</li> <li>・ハングルの激音、単語</li> </ul>		第3回	中国人の日常生活② ・発音のポイント(ピンイン、母音、声調) P5-8 複合母音(13種類)、鼻母音(16種類)、など P13-14		
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の地理歴史</li> <li>・ハングルの濃音、単語</li> </ul>		第4回	単母音、子音		
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の現代社会①</li> <li>・ハングルの合成母音、単語</li> </ul>		第5回	複合母音(13種類)、鼻母音(16種類) P13-14		
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会②</li> <li>・ハングルのパッチム、単語</li> </ul>		第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の現代社会</li> <li>・私は～です。否定形、疑問形</li> </ul>		
第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の教育文化①</li> <li>・私は～です。否定形、疑問形肯定形 P40-58</li> </ul>		第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これはなんですか</li> <li>指示代詞、物の名詞、疑問代詞 p66</li> </ul>		
第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育文化②</li> <li>・何をしますか 動詞のです形、ます形導入 P64</li> </ul>		第8回	中国の教育文化		
第9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の文化芸術①</li> <li>・動詞のです、ます形 練習問題 P76</li> </ul>		第9回	尋ねる4-5P75-83		
第10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術②</li> <li>・漢数字、名詞のヨ体 P90</li> </ul>		第10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞『有』</li> <li>反復疑問文P68</li> </ul>		
第11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の宗教文化</li> <li>・動詞のヨ体 練習問題 資料配布</li> </ul>		第11回	・形容詞の使い方P108-123		
第12回	期末試験対策、質疑応答		第12回	期末試験対策、質疑応答		
第13回	期末試験		第13回	期末試験		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回ではないですが、ペアワークやグループワークを取り入れ、発表などを通して、日本と他国の比較事例を覚えていきます。</li> <li>・言語の方は、前回の部分は必ず復習するよう、お願い致します。</li> </ul>					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、期末試験と平常点(中間テスト、課題、授業での態度など)の合計を評価基準とする(評価:試験80%、平常点20%)					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	ホスピタリティマネジメント		授業形態	演習		
担当教員	阿部弘枝		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻	専門科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	ホテル接客部門の全般、外客接遇、インバウンドセールス&マーケティング、商品企画などを中心に観光業界に於けるキャリア20年					
テキスト	社会人ホスピタリティ 日本ホスピタリティ検定協会編					
講義の概要	今日の日本語のおもてなしの代用語として使用されている“ホスピタリティ”について、その語源や本来の意味を理解し、ホスピタリティ産業だけではなく、日常生活やビジネスの様々な状況に於いても、個々が進路に合わせて、より有効的活用できる授業を目指す。					
講義の展開計画						
第1回	ホスピタリティの基本と成り立ち		第14回	今後の社会とホスピタリティ		
第2回	ホスピタリティの効果		第15回	高齢者に対するホスピタリティ		
第3回	ホスピタリティマインドとは—自分自身の感情を知る		第16回	様々なコミュニケーション		
第4回	交流分析—自分と他者		第17回	働き方改革とホスピタリティ		
第5回	心に余裕を持つ重要性		第18回	チーム活動とホスピタリティ		
第6回	観察力・想像力を鍛える		第19回	高齢者や様々な相手に対するホスピタリティ		
第7回	ホスピタリティマナー 基本		第20回	ゲスト対応とホスピタリティ		
第8回	身だしなみ、言葉遣いなどのポイント		第21回	クレーム対応とホスピタリティ		
第9回	挨拶のTPO		第22回	ホスピタリティの実践 グループワーク①		
第10回	ホスピタリティコミュニケーションの基本		第23回	ホスピタリティの実践 グループワーク②		
第11回	リスニングスキル		第24回	会社内の業務運営とホスピタリティ(環境、育成指導など)		
第12回	トーキングスキル		第25回	ワンランクアップのゲスト対応を考える&ロールプレイング		
第13回	前期末定期考査		第26回	後期末定期考査		
履修上の注意	習熟度に応じて、講義順の変更あり。					
試験成績の評価基準	前期：記述、課題への取り組み、平常点の総合点 後期：記述、実技の総合点					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	エアラインサービス演習		授業形態	演習		
担当教員	松橋 有希子		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	成田空港国際線地上職（搭乗手続き、搭乗ゲート業務、到着業務、デスクパッチ業務他）					
テキスト	航空検定テキスト他					
講義の概要	1年次に学んだ航空業に携わる様々な仕事を深く知り、航空検定2級取得を目指す。					
<b>講義の展開計画</b>						
第1回	オリエンテーション、1年次の復習		第1回	国内航空会社について		
第2回	航空検定について		第2回	国内航空会社調べ①		
第3回	パイロット、CA		第3回	国内航空会社調べ②		
第4回	GSの仕事		第4回	プレゼンテーション		
第5回	GSとGHの違いを知る		第5回	プレゼンテーション		
第6回	検定過去問①		第6回	外資系空港調べ①		
第7回	ケータリング		第7回	外資系空港調べ②		
第8回	管制官の仕事		第8回	プレゼンテーション		
第9回	空港の国家公務員		第9回	プレゼンテーション		
第10回	整備士		第10回	社会での空港の役割について考える		
第11回	検定過去問②		第11回	現在の課題と空港、航空会社の任務とは		
第12回	検定過去問③		第12回	総復習		
第13回	期末考査		第13回	期末考査		
履修上の注意	6月、11月実施の航空検定受験は任意となります。 航空検定実施日時により、授業内容が前後する可能性があります。					
試験成績の評価基準	平常点20点、期末考査50点、課題（プレゼンテーション）30点					

## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	観光サービス演習			授業形態	講義および演習		
担当教員	木島 上			履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科			G、クラスまたは専攻		専門科目	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験	国内外でホテル各部門の業務を経験。2001年から、ホスピタリティ開発の専門コンサルタントとしてホテル旅館・医療福祉・公共サービスなど各分野の人材育成を支援している。						
テキスト	オリジナルプリント						
講義の概要	宿泊業、旅行業、公共交通事業など幅広い領域にわたる観光ビジネスの現状を俯瞰しつつ、仕事の特性や今後の展望、経営課題までを総論的に講義。また、観光サービス業において喫緊のテーマとなっている現場のリーダーシップやクレーム&トラブル対応について、実践的に学ぶ。						
講義の展開計画							
第1回	「観光をビジネスとしてデザインする」とは、 どういうことか			第1回	「行ってみたい」と思っただけの観光プランディング		
第2回	観光という“輸出産業”／政府の観光立国化ビジョン／観光ビジネスのメリット			第2回	イメージしやすい尖ったシンボルの重要性／Unique Selling Proposition		
第3回	観光ビジネスの全体像（アゴ・アシ・マクラ、 デアイ・アソビ・マナビ、観光物産、その他）			第3回	「量から質」の発想転換で、持続可能な観光へ		
第4回	観光ビジネスの経営特性（運営、労務、資本の 観点から）			第4回	「CS・ES・Profit」のトライアングル／対人コミュニケーションの三段跳び発想		
第5回	宿泊業の現状と展望／ホテルと旅館（それぞれの 魅力、経営特性）			第5回	サービス・リーダーシップ演習① 従業員満足度、エンゲージメント、心理的安全性		
第6回	飲食業、交通事業、旅行業、その他ツーリズム 関連業界の現状と展望			第6回	サービス・リーダーシップ演習② 「東へ率いる」から「成長支援と全体調整」へ		
第7回	ホテル企業の組織体制と業務内容／ホテル各現 業部門収支特性			第7回	サービス・リーダーシップ演習③ K・ブランドチャード式フレームワーク／教え力		
第8回	インバウンドの特性／脱ゴールデンルート／着 地型観光と日本版DMO			第8回	クレーム&トラブル演習① ホスピタリティ対応		
第9回	外資系ホテル躍進の背景と影響／和への回帰			第9回	クレーム&トラブル演習② ハードクレーム対応		
第10回	世界展開も始まった「旅館メソッド」の方法論			第10回	クレーム&トラブル演習③ 予防策としての組織風土づくり		
第11回	ホテルがチェーン展開する仕組みとメリット／ ブランドの階層展開			第11回	感情労働におけるメンタル・コンディショニング／ハラスメント対策		
第12回	インターネット時代の観光サービス／OTAの 動向			第12回	自分自身へのホスピタリティ		
第13回	期末試験			第13回	期末試験		
履修上の注意	受動的にならず、観光サービスについて、自分として関心の湧く部分や好きな切り口を見出すつもりで受講していただきたい。						
試験成績の評価基準	授業内容を理解し、設問に基づいて正確かつ論理的に説明できるか、筆記試験にて採点（50点満点）。与えられたテーマに沿って自分の考えをまとめ、表現できるか、課題レポートにて採点（30点満点）。出席率を点数化（10点満点）。問いかけへの反応や質問の多寡など集中度と積極性を点数化（10点満点）。						

# 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	流通ビジネス		授業形態	演習		
担当教員	小田部 直樹		履修年次	2年		
担当学科	ビジネスデザイン科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	【小売業】・新既店舗立ち上げ2店舗・店長3店舗(8年)・仕入れ・買い付け実務経験3年・販売・売場担当実務経験6年・新既店舗立ち上げ2店舗・バイヤー・エリアマネージャー3年・コンプライアンスマネージャー・教育マニュアル作成等					
テキスト	ユーキャンの販売士(リテールマーケティング)検定2級 速習テキスト&問題集(第4版)					
講義の概要	流通・小売業における専門知識のみならず、あらゆるビジネスにおいて必要不可欠な、基本知識の習得に役立つ販売士(リテールマーケティング)2級の取得を目標とします。実例を挙げ分かり易く説明したいと思います。					
<b>講義の展開計画</b>						
第1回	販売士(リテールマーケティング)検定2級についての説明及びオリエンテーション		第1回			
第2回	第1章小売業の類型Lesson1~Lesson5		第2回			
第3回	第1章小売業の類型Lesson6~Lesson10		第3回			
第4回	第1章小売業の類型・理解度チェック・店舗視察		第4回			
第5回	第2章マーチャンダイジングLesson1~Lesson5		第5回			
第6回	第2章マーチャンダイジングLesson6~Lesson10		第6回			
第7回	第2章マーチャンダイジングLesson11~Lesson16		第7回			
第8回	第2章マーチャンダイジング・理解度チェック・店舗視察		第8回			
第9回	第3章ストアオペレーションLesson1~Lesson4		第9回			
第10回	第3章ストアオペレーションLesson5~Lesson8		第10回			
第11回	第3章ストアオペレーション・理解度チェック		第11回			
第12回	試験直前対策		第12回			
第13回	前期期末試験		第13回			
履修上の注意	専用ノート及び、フラットファイルを用意しましょう。必ず予習を行い記憶の定着を図り、検定試験に合格出来るように授業に望んでください。ノートPC持参もお願いします。					
試験成績の評価基準	平常点を加味し、筆記試験8割換算及び平常点2割換算し評価基準とします。					



## 講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	マーケティング	授業形態	演習
担当教員	小田部 直樹	履修年次	2年
担当学科	ビジネスデザイン科	G、クラスまたは専攻	
履修学期	通年	単位数	前期 1 後期 2
コマ数/週	前期 1 後期 2		
実務経験	【小売業】・新既店舗立ち上げ2店舗・店長3店舗(8年) ・仕入れ・買い付け実務経験3年 ・販売・売場担当実務経験6年 ・新既店舗立ち上げ2店舗・バイヤー・エリアマネージャー3年 ・コンプライアンスマネージャー・教育マニュアル作成等		
テキスト	ユーキャンの販売士(リテールマーケティング)検定2級 速習テキスト&問題集(第4版)		
講義の概要	流通・小売業における専門知識のみならず、あらゆるビジネスにおいて必要不可欠な、基本知識の習得に役立つ販売士(リテールマーケティング)2級の取得を目標とします。実例を挙げ分かり易く説明したいと思います。		
<b>講義の展開計画</b>			
第1回		第1回	第4章マーケティングLesson1~Lesson5
第2回		第2回	第4章マーケティングLesson6~Lesson8
第3回		第3回	第5章販売・経営管理Lesson1~Lesson5
第4回		第4回	第5章販売・経営管理Lesson6~Lesson10
第5回		第5回	第5章販売・経営管理Lesson11~Lesson12
第6回		第6回	予想模擬試験①
第7回		第7回	予想模擬試験②
第8回		第8回	検定試験過去問①
第9回		第9回	検定試験過去問②
第10回		第10回	演習問題①公式ハンドブック
第11回		第11回	演習問題②公式ハンドブック
第12回		第12回	試験直前対策
第13回		第13回	後期期末試験
履修上の注意	専用ノート及び、フラットファイルを用意しましょう。必ず予習を行い記憶の定着を図り、検定試験に合格出来るように授業に望んでください。ノートPC持参もお願いします。		
試験成績の評価基準	平常点を加味し、筆記試験8割換算及び平常点2割換算し評価基準とします。		